

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表： 令和7年 4月 23日

事業所名 トミオカコネクト 東住吉教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			規定に基づき行っている。
	2	職員の配置数は適切である	○			指定基準を満たしている職員配置になっていますが、より良い支援のために今後も専門職員の確保、各職員の専門性を高めていけるよう努力していきます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			現状規定に基づき行っています。今後もより一層、利用者様の安全の為にバリアフリー化に努めていきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		定期的に職員会議を行い情報を共有し支援に活かしている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			改善点等保護者の意見をしっかり把握し業務改善に努めていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		事業所内の掲示板にて公開しています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		社内研修・社外研修を行っています。	改善点等をしっかり把握し業務改善に努めていきます。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		標準化されたアセスメントツールを使いニーズを把握しています。	適切に行うように努力しています。今後より良い形にしていけるよう、見直し、改善を行っていきます。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		体操の内容を子どもの特性に合わせて充実させている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	○		職員会議等の場面を通じて共通認識を持って支援を行っています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			職員会議等の場面を通じて共通認識を持って支援を行っています。今後も昨年以上に子どもに寄り添い充実した支援を行っていきます。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			

	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		利用者一人ひとりの記録をつけ全ての職員が共有できるようにしている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	○			
関係機関や保護者との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○		保護者の方々と連携しながら必要な場合は学校にも連絡し対応しています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		保護者の方々と連携しながら必要な場合は学校にも連絡し対応していきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		保護者の方々と連携しながら必要な場合は保育所、幼稚園等にも連絡し対応しています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○		現在該当児はいませんが、該当児を支援する場合は各事業者等と適宜連携を図ります。
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○	体操スクールの子どもたちと一緒に活動する機会を設けている。	同法人が運営するトミーインターナショナルスクール、体操スクール生との交流の場を設けることを考えます。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	○		情報共有や連携を図っています。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		個々の利用者の現状を踏まえて行っています。	研修等を行い、準備を進めていきます。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		当事業所では父母の会の設定は予定しておりません。保護者の方が自主的に行うことに関しては協力させていただきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			

	35	個人情報に十分注意している	○			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			昨年度からSNS等を使って情報伝達を行っています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		感染対策を十分に行いながら、今後地域住民を招待するような機会を検討していきます。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			各マニュアルを策定しております。しかし全ての保護者に完全に周知するまでには至っていないのが現状です。今後出来るだけ分かりやすいように周知できるように検討します。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		定期的に行っています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		毎年研修に参加し職員間で情報を共有しています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			現在は身体拘束を行うに至っていないが、今後そのような対応が必要な時に的確な対応が出来るよう指針を作成し令和3年4月1日から保護者、職員に周知の上、研修等を行っています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			